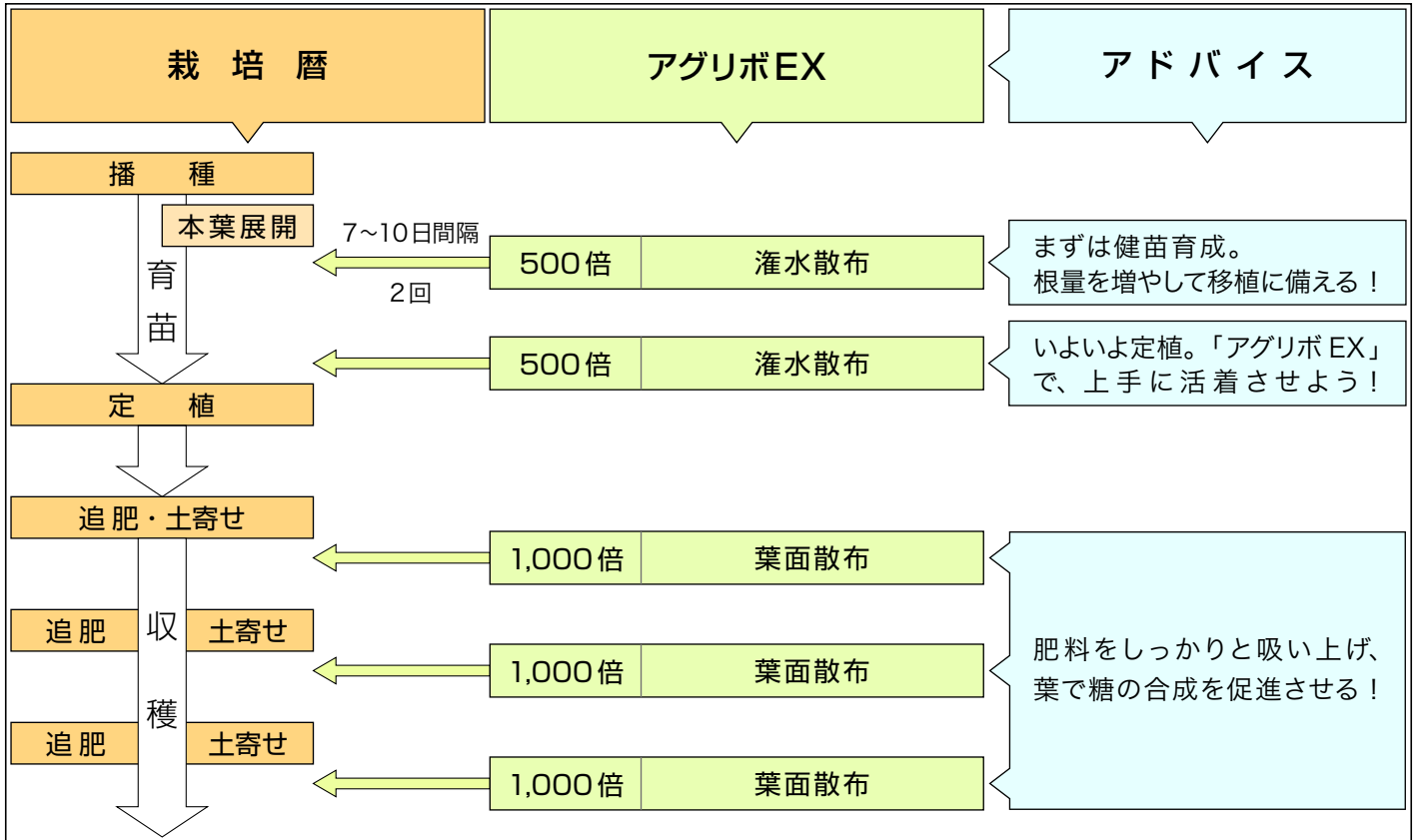


育苗期3回、生育期は追肥後散布で！



育苗期のポイント

おくらは移植に弱い作物なので、育苗期の発根促進が重要です。

生育期のポイント

草丈が40~50cmに伸びた頃から生育が急に良くなるので、肥料不足にならないよう、しっかり追肥を行なう。花が頂部につくようでは栄養条件が悪い証拠。追肥後はすかさず「アグリボEX」を散布して根を活性化し、同時に葉での糖の合成を促すよう心がけよう。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328